

令和6年 診療所における輸血状況調査 集計結果

対象施設数	回答数		合計	回答率
	実績有	実績無		
372	314	16	330	88.7%
	84.4%	4.3%		

主な機能						合計
内科	外科	産科	人工透析	訪問診療	その他	
98	19	20	141	98	25	401
29.7%	5.8%	6.1%	42.7%	29.7%	7.6%	

※複数回答有

I 輸血用血液製剤使用状況

区分	施設数	使用回数
赤血球	311	7,972
血小板	48	1,930
血漿	16	76
全血	0	0
グロブリン製剤	8	182
たん白製剤	22	856
血液凝固因子製剤	1	6
(再掲) フィブリノゲン	1	6
人ハプトグロビン	0	0
組織接着剤	1	1
その他	0	0
合計回数	407	11,023

II 疾病別輸血状況

疾病名	実人数	悪性新生物の内訳(再掲)	実人数
悪性新生物 (白血病を含む)	751	胃	66
血液及び造血器	602	結腸及び直腸	50
循環器系	43	肝及び肝内胆管	26
消化器系	168	気管、気管支及び肺	23
筋骨格系及び結合組織	240	乳房	27
腎尿路生殖器系 (透析患者含む)	393	子宮	65
妊娠・分娩	78	悪性リンパ腫	29
損傷、中毒及びその他の外因	10	白血病	194
その他の疾患	200	その他	152
不詳	200	不詳	119
合計人数	2,685	合計人数	751

III 年代別及び男女別輸血状況(実人数)

年代／性別	0～4歳	5～9歳	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳
男	0	1	0	5	1	8
女	1	3	0	2	11	68
年代／性別	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
男	22	77	158	374	436	150
女	26	69	85	246	448	216
合計人数						
男		1,232				
女		1,175				

【調査概要】

- 調査対象 令和6年1月1日から同年12月31日までに血液製剤の供給実績があった、都内の診療所
- 対象期間 令和6年1月1日から同年12月31日の1年間
- 調査方法 令和7年1月31日に別紙「調査票」を各医療機関管理者宛てに郵送
- 回答方法 郵送、メール、電子回答

IV 入院・外来・訪問別輸血状況

輸血対象	施設数	実施回数	
		構成比	
入院	57	3,159	31.7%
外来	159	2,375	23.8%
訪問診療	112	4,433	44.5%
合計回数	328	9,967	

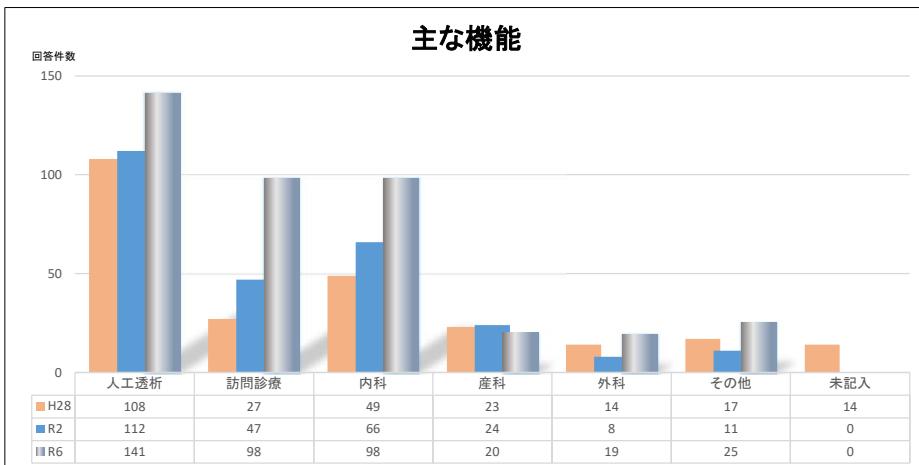
※複数回答有

令和6年 診療所における輸血状況調査 集計結果（推移）

1 対象施設・回答数

	平成28年	令和2年	令和6年	前回を100とする指數
対象施設数 (診療所)	293	304	372	122.4
回答数 (診療所)	211	229	330	144.1
	72.0%	75.3%	88.7%	
輸血実績数 (診療所)	198	217	314	144.7
	67.6%	71.4%	84.4%	

2 診療所の主な機能



※複数回答有。H24未調査

3 輸血用血液製剤使用状況

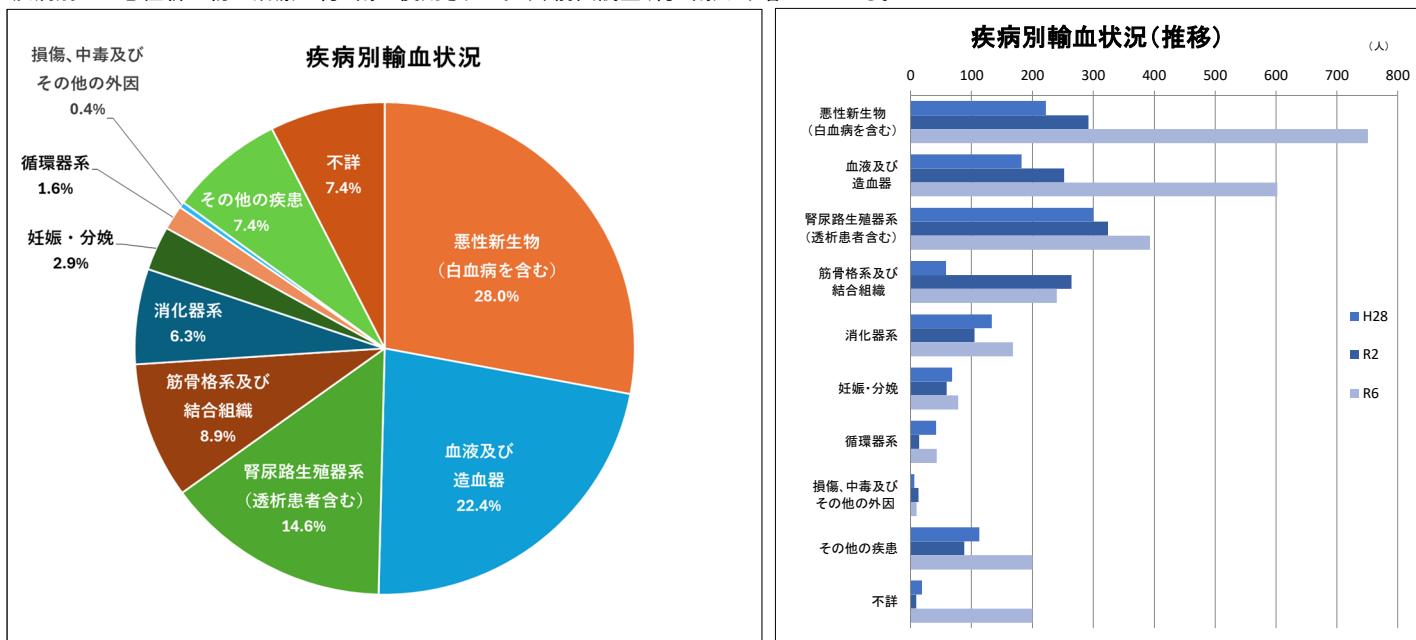
- (1)赤血球、血小板の使用回数が大幅に増加した。
- (2)全血の使用はなかった。

区分	H28		R2		R6		前回を100とする指數	
	施設数	使用回数	施設数	使用回数	施設数	使用回数	施設数	使用回数
赤 血 球	189	3,109	212	5,404	311	7,972	146.7	147.5
血 小 板	19	205	24	1,125	48	1,930	200.0	171.6
血 漿	19	147	20	84	16	76	80.0	90.5
全 血	0	0	0	0	0	0	-	-
グロブリン製剤	20	407	14	167	8	182	57.1	109.0
たん白製剤	28	1,181	22	993	22	856	100.0	86.2
血液凝固因子製剤 (再掲) フィブリノゲン	3	10	3	3	1	6	33.3	200.0
人ハプトグロビン	0	0	0	0	0	0	-	-
トロンビン(人由来)	2	6	1	16	-	-	-	-
組織接着剤	1	1	1	106	1	1	100.0	0.9
その他	0	0	0	0	0	0	-	-
合計回数	281	5,066	297	7,898	407	11,023	137.0	139.6

※トロンビン(人由来)はH28に供給終了。

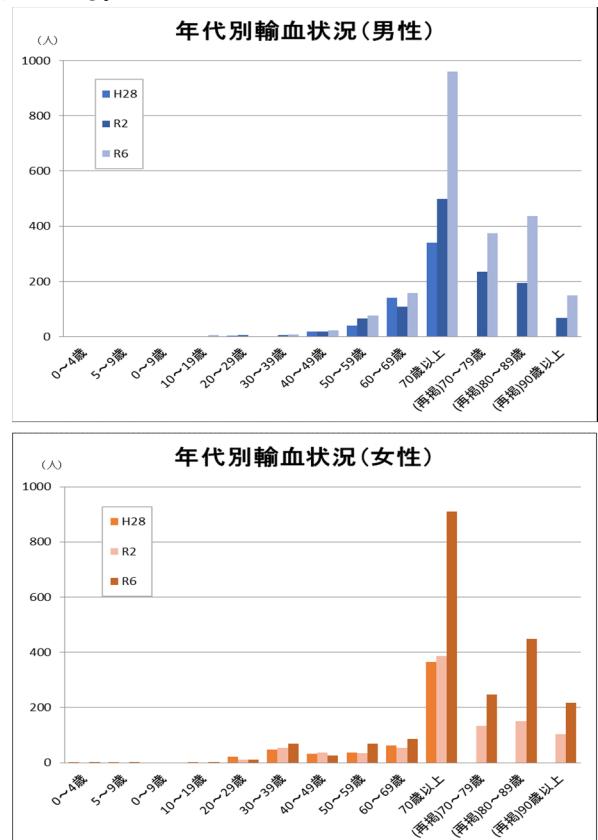
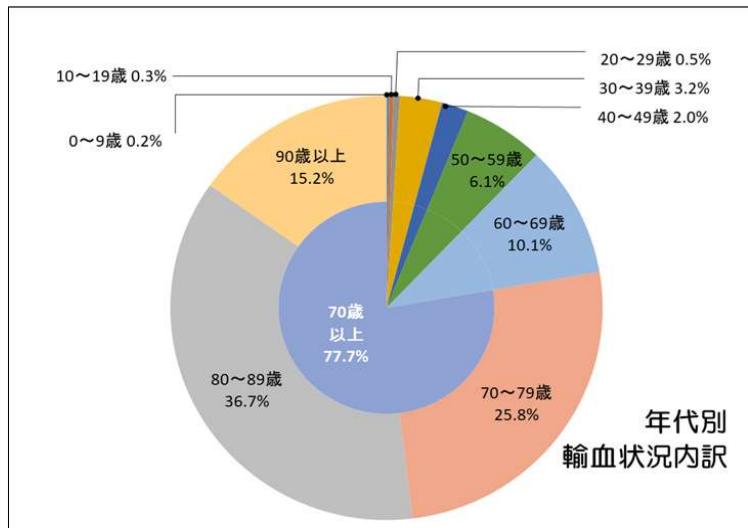
4 疾病別輸血状況

疾病別では悪性新生物の治療に約3割が使用されており、前回調査(約2割)より増加している。



5 年代別及び男女別輸血状況（実人数）

男女ともに70歳以上への使用が全体の約8割を占めており、前回調査(約7割)より増加している。



6 入院・外来・訪問別輸血状況

前回調査より訪問診療での輸血実施が施設数、実施回数ともに増加している。

輸血対象	H28			R2			R6		
	施設数	実施回数		施設数	実施回数		施設数	実施回数	
			構成比			構成比			構成比
入院	51	1,860	45.6%	40	551	14.7%	57	3,159	31.7%
外来	137	1,699	41.7%	125	1,436	38.3%	159	2,375	23.8%
訪問診療	26	518	12.7%	51	1,764	47.0%	112	4,433	44.5%
合計回数	214	4,077	—	216	3,751	—	328	9,967	—

*複数回答有。

*いずれの設問も、輸血実績があるが未回答の施設有。